

第6次城西地区地域福祉活動計画

だれでも安心して暮らせる豊かな福祉のまちづくり

城西地区社会福祉協議会

目 次

1、計画の策定に当たって

- (1) 計画策定の趣旨
- (2) 計画の性格
- (3) 計画期間

2、計画の策定の基盤

- (1) 城西地区の概要
 - ①地区の特性
 - ②世帯数および人口の推移
 - ③高齢化と少子化
 - ④社会資源

3、第5次城西地区地域福祉活動計画反省

- (1) 基本活動
 - ①地域防災体制基盤整備
 - ②広報活動
- (2) 福祉活動
 - ①高齢者福祉
- (3) 児童福祉
 - ①子どもへの支援
- (4) 一般福祉
- (5) 発展活動
 - ①「安全安心」なまちづくり

4、第6次城西地区地域福祉活動計画

- (1) 策定作業への取り組み態勢の経緯など
 - ①策定作業に至るまでの経緯
 - ②策定に際しての理念
- (2) 城西地区地域福祉活動計画の概要
 - ①福祉目標の設定
- (3) 事業項目ごとの推進方策（年次計画）など 別紙の通り

5、福祉活動計画策定委員会名簿

第6次城西地区地域福祉活動計画

— だれでも安心して暮らせる豊かな福祉の町づくり—

1、計画の策定に当たって

(1) 計画策定の趣旨（背景および目的）

令和元年度に、城西地区社会福祉協議会が策定した城西地区地域福祉活動計画は、その5年間の計画期間を通して、地域住民の協力態勢と関係機関団体の努力によって大きな成果をおさめ、令和5年度、計画の終了を迎えた。

この時にあたり、一層の重要性を増してきている城西地区の福祉課題を十分に見据え、この課題解決のための的確な方策を盛り込んだ第6次城西地区地域福祉活動計画を策定することの重要性がますます高くなってきた。

そのため、城西地区社会福祉協議会では、総力をあげて、「誰でも安心して暮らせる豊かな福祉の町づくり」の理念を実現するための城西地区プランを策定する。

(2) 計画の性格

この計画は、城西地区に暮らす住民が“自分たちの、この城西地区の「福祉の町づくり」を展望し、住民の総意を集め、手作りで作成していく”ものであることを基本とする。

また、この計画は、城西地区における町づくりなど関係する各種の計画などとの整合を図りながら、これらとの十分な連携態勢を保持しながら展開実施されていく必要がある。

さらに、計画の具体的な内容の見極めについては、「地域住民が福祉課題の解決に取り組む自発的な福祉教育学習過程」という観点から、およそ次の4つの段階をふまえて整理し、年次的に配列していくことが重要であると考えている。

- ① 地域住民が自主的に福祉の制度や地域の福祉（暮らし）の問題を学習する。
- ② 地域住民が地域において支援の必要な人々の福祉（暮らし）の問題に気づく。
- ③ 地域住民が地域の福祉（暮らし）の問題について、自らできる解決のための活動を開発・実践する。
- ④ 地域住民が自らで解決できない地域の福祉（暮らし）の問題について、政策的な課題として提案する。

(3) 計画期間

この計画は、令和6年度から、令和10年度までの5カ年間を対象とする。

2、計画策定の基盤

(1) 城西地区の概要

①地区の特性

城西地区は、松江城の西側内堀から西方へ約2.2キロメートル、宍道湖北岸から北方へ約1.8キロメートルの範囲にわたる広大な面積を擁する地域で、住宅地、商業地域、山間地域が比較的截然と存在し、古来、当地方の政治経済文化の中心的な地域として発展して来た。

また、地区内には、かつてより学校教育、社会教育などの施設も多く、市内有数の文教地区でもあるといわれている。

最近では急速に変化が見られ、特に農耕地が個人住宅に転用され、わずかに残る程度になった。

西方に位置する国屋町の丘陵地は住宅団地が次々と開発され、南平台・新国屋・陽南台の大規模な団地が並んでいる。一方、田畑であった平地も、ちどりヶ丘・シンフォニー国屋・くやヶ丘などの小規模団地が開発され人口も増加している。

昭和40年代に造成された南平台団地は高齢化が進み、空き家が出てきている。その空き家に入居者が付くものと、つかないものの二通りに分かれる現象が有るのには原因が有った。メイン道路や、ある年度より団地造成時に道幅を広く作らねばならない町内会、そして道路側に日本庭園が有ること。つまり庭園を駐車場にする。若い家族は2～3台自家用車を保有し特に子供の送り迎え用に大型のワンボックスカーが出入りできる幅広い道路の家を購入している。幅広い道路の新しい町内会には子供の声に戻ってきた。

かつての中心市街地である殿町や京店に近い茶町などの商業地域も、近隣的大型店に吸収され閉店し、一般住宅に変わるか、解体されて駐車場に転用されている。それらの駐車場は、宅地の狭い市街地の住宅では車社会の現在は駐車場が無くては住むことができず、新たにできた駐車場を借用し定住することが可能になった。また、商店を利用される客のために利便性を備えている。従って駐車場は単なる空き地ではなく、街としての活気の一助となっている。

②世帯数および人口の推移

住民台帳、国政調査による世帯数および人口の推移は、下表の通りである。

	S50年	S60年	H7年	H17年	H25年	H30年	R5年
人口(人)	8,036	7,845	7,775	8,181	9,153	9,245	9,158
世帯数(戸)	2,571	2,806	3,047	3,402	4,035	4,157	4,208

注) 昭和60年までの数値は、国勢調査による人口と世帯数。平成7年以降の数値は、住民基本台帳登録による人口と世帯数。

これによると、人口はやや減少傾向にあったが、25年位前から増加に転じた。これは、市街地に高層集合住宅（マンション）の建築や、農耕地や丘陵地に住宅団地（戸建て住宅）の造成により、新築住宅が増加したためと思う。

一方、世帯数は人口の増減に係わらず確実に増加している。これは、新築住宅の増加とともに、核家族化の進展と独居など少人数家庭の増加傾向を如実に現しているものといえる。

それゆえ、従来からの住宅・商業地区は入居者が減少し、高齢化と一人住まいの住居が増加している。

10年前は50から60歳の人口が多かったがそのピークが移動したため現在高齢者が増加した。

③高齢化と少子化

城西地区の高齢化率は、平成17年までは急速に増加していたが、以降横這い状況にあった。しかし、平成30年から再度増加傾向にある。

平成20年には城西地区の高齢化率は24.0%に対し、松江市全体の高齢化率が23.7%とほぼ同等だったが、令和5年には城西地区26.9%に対し松江市全体では30.4%と増加している。

30.4%以下の地区は29地区のうち11地区で、城西地区は8位の位置にある。

11地区は中心市街地（一部除く）及び周辺の住宅街である。

平成13年以降の松江市全体と城西地区の高齢化率の比較

	H13年	H17年	H20年	H25年	H30年	R5年
人口（人）	8,680	8,181	8,668	9,153	9,245	9,158
65歳以上の人口（人）	1,763	1,848	2,079	2,159	2,363	2,464
城西地区の高齢化率(%)	20.3	22.6	24.0	23.6	25.6	26.9
松江市全体高齢化率(%)		22.2	23.7	25.8	28.8	30.4

また、子どもの人数については、内中原小学校の児童数で見ても減少傾向にあった。その様な中で、最近増加した高層集合住宅（マンション）や、新規に開発された住宅団地には若年層が多く入居している。

昭和40年代に丘陵地に開発された南平台団地には、平地と比較し土地が安価で宅地が広いため、高齢化で空き家になった住宅を購入し、庭園を駐車場に改造する若年層が入居。また、高齢化した親の近所の空き家を購入し、親が孫の子守が出来、親・子・孫と共存出来る団地となり、土日の団地内は子どもの声で昔を取り戻している。その後造成された新国屋団地は高齢化が進むが、同様な時期が来ると予想する。一方、陽南台・新とねり団地や、農地だった国屋町に戸建て住宅が現在でも多く新築されている。

その影響で22年度の内中原小学校の入学児童は久しぶりに大幅に増加し、30年には減少するも、未就学児童が増加している。特に国屋・南平台地区など西地区からの通学児童数が圧倒的に多く、通学路としている「とねり坂」は中学生も含め、朝夕は行列が出来、見守り隊の監視が非常に役立っている。

高齢化率と児童数

	H8年	H13年	H17年	H25年	H30年	R5年
65歳以上の人口(人)	1,373	1,763	1,848	2,159	2,363	2,464
高齢化率(%)	17.8	20.3	22.6	23.6	25.6	26.9
内中原小児童数(人)	760	599	549	737	702	665

④社会資源

松江市の中心部に位置する城西地区は県庁・市役所・警察などの官公庁、教育機関、医療機関、買い物場所、福祉施設、観光旅館、温泉施設、交通拠点などが地区内及び近隣に位置し、非常に利便性の良い地区である。

郊外の高台の団地住まいでも1家に2台以上の車を保有する若年層の家庭は、移動で苦勞する事は無く入居する家庭が多い。

最近出来た陽南台団地は若年層がほとんどで環境の良い生活を過ごしている。

一方、高齢者は郊外の団地から市街地の高層共同住宅に移住する家庭も増えたが、店の無い南平台団地には、スーパーや買物配達それに配食会社等のサービスが充実し、バス路線もあり病院への通院や買い物も出来、高齢者にも優しい地区である。

◎城西地区に存在する施設

イ) 金融・公共機関

- ・官公庁：松江市役所、社会福祉協議会、県原子力防災センター、県立図書館等
- ・金融機関：山陰合同銀行北支店、市役所出張所
- ・郵便局：城西郵便局
- ・交番：内中原交番
- ・教育機関：城西幼保園、内中原小学校、第一中学校、児童クラブ、しらとり保育所
- ・公共交通機関：一畑電鉄（JR出雲市・出雲大社前行き）、高速バス（広島行き）、出雲空港行きリムジンバス、市内各所行き、レイクライン（松江温泉バスターミナル）
- ・高齢者福祉施設：社会福祉協議会、民間施設多数
- ・児童福祉施設：不登校児童・生徒の親の会、放課後デイサービス施設など

ロ) 医療機関：内科・外科・眼科・小児科・歯科・脳神経外科等多数

- ##### ハ) 買い物場所：みしまや中原店、コンビニエンスストア、個人商店（地区に多数）
- マルイ ナチュラルガーデン（キャスパル跡地に建築中の大型店）
シンコー黒田店、京店商店街・・・近郊施設

ニ) 観光施設

ホテル・旅館、土産物店、温泉スタンド、温泉足湯、ちどり湯、飲食店等

ホ) スポーツ施設：ビッグ・エスジム、県立武道館

へ) 歴史的施設：月照寺、洗合城跡等

◎城西地区内の団体・活動など（次頁以降）

イ) 城西地区各種団体一覧

ロ) 城西地区活動一覧

ハ) 城西地区高齢者クラブ活動（公民館・きずなクラブ）

イ)城西地区各種団体一覧

団 体 名	組織数	主 な 活 動
社会福祉協議会	1	福祉に関する取り纏め
民生児童委員協議会	1	独居・高齢者・要配慮者等への相談活動
福祉推進員会	1	社協活動、見守り・ふれあい活動
人権教育推進協議会(つながりの会)	1	人権問題に関する知識を高める活動
町内連合会	1	各自治会の活動の支援、加入促進
自治会・町内会	44	自治会活動、取り纏め、ゴミ出し管理、加入促進
要配慮者支援組織	2	要配慮者の支援
災害対策本部	1	地区の防災指導
自主防災隊	17	地区の防災活動・指導
体育協会	1	地区体育大会計画、市の大会に参加
高齢者クラブ(きずなクラブ)	1	親睦会、体育大会参加、清掃・奉仕・健康活動
交通安全協会	1	交通安全街頭指導、広報活動
交通安全対策協議会	1	交通指導、施設の整備
見守りネット	1	子どもの安心安全見守り活動
地域安全推進委員会	1	地域内の子どもの見守り・防犯などの活動
PTA(幼・小・中)	各1	PTA活動
城西幼保園見守り隊	1	園児の見守りと交流
児童クラブ1・2・3	3	放課後児童の預かり
更生保護女性会	1	更生保護施設慰問
子ども会育成協議会	1	子どもの健全育成のための活動
生活環境保全推進員会	1	リサイクルステーションの点検・不法投棄の見回り
母子保健推進員	1	子育て支援
保護司会	1	更生支援
消防団橋北分団	1	城西・城東・城北地区の火災見守り・消火活動
公民館運営協議会	1(6部会)	公民館の運営に関すること・事業の推進

ロ)城西地区活動一覧

区 別	活 動 内 容	対 象	備 考
総務	避難訓練	地区住民	
	関係団体との連携協力		
	城西福祉編集発刊		
高齢者福祉	敬老祝い	75歳以上	
	健康まつえ21推進隊	地区住民	
	健康ウォーキング		
	健康づくり講座		
	なごやか寄り合い	みずうみ会	
	〃	なんじゃもんじゃの会	
	〃	ごくいいまちいいなかま会	
	〃	きらく会	
	〃	あらわい会	
	〃	千鳥会	
	〃	あじさい会	
	〃	うぐいす会	
児童福祉	安全パトロール		
	子育てサロン		
	子どもクッキング		
	子ども広場		
	げんきげんき		
一般福祉	あつたか広場		
	料理ボランティア		
	環境保全ボランティア		
	健康、レクボランティア		
	サロンボランティア		

ハ) 公民館活動

室外運動

種 目	場 所	開 催 日 時	備 考
健康ウォーキング		月1回 第3土曜日	
ペタンク	ニコニコ広場	毎週水・金曜日	
グラウンドゴルフ	〃	毎週月・木曜日	

公民館サークル

種 目	場 所	開 催 日 時	備 考
俳句クラブ	公民館	第3水曜日 13:30～15:30	
木彫り同好会	〃	第1・3火曜日 9:00～12:00	
城西コーラスコールピオニー	〃	第2・4月曜日 10:00～11:30	
尺八棲琳会	〃	毎週木曜日 15:00～16:30	都山流
3B体操	〃	第1・3金曜日 19:30～20:30	
シニア3B体操	〃	第1・3火曜日 10:00～11:00	
フィットネス(エアロ)	〃	毎週火曜日 10:00～11:00	
〃 (ヨガ)	〃	毎週金曜日 10:30～11:30	
気功・太極拳サークル	〃	毎週土曜日 15:30～17:00	
さわやかリズム	〃	毎週木曜日 10:00～12:00	
陶芸クラブ A	〃	毎週金曜日 9:30～15:30	
陶芸クラブ B	〃	第2・4火曜日 9:00～15:00	
生活エンジョイクラブ	〃	4～11月 月3～4回水曜午前中	
どんぐりマーじゃん	〃	毎週火曜日 13:00～17:00	
中国語教室	〃	毎週金曜日 14:00～16:00	
絵手紙サークル	〃	第2木曜日 10:00～12:00	

3、第5次城西地区地域福祉活動計画反省

令和元年から5年までの、第5次城西地区地域福祉活動計画に基づく実践の状況を反省し、4段階で評価した。この成果をもとに令和6年度を初年度とする第6次城西地区地域福祉活動計画策定作業を行った。

(1) 基本活動

① 地域防災体制整備

・令和元年以降コロナ禍で避難訓練などが実施出来なかったが、令和4年6月に「山陰ケーブルビジョン」主催、松江市と城西地区災害対策本部共催で避難訓練を実施した。

令和5年11月には島根県主催で「原子力防災避難訓練」で城西地区各町内会対象に自家用車による江津市までの避難訓練を実施した。(B)

・自主防災隊結成について、現在17隊が登録されているが、令和元年度の活動状況等のアンケートによると半分以下の7隊しか活動されておらず、新型コロナ発生後はほとんど出来なかった状況である。(C)

コロナ禍明けの令和5年には内中原5区は町内会として勉強会を開き、国屋下自主防災隊は避難訓練を実施する等徐々に活動の兆しが見えた。

・避難行動要支援者の支援には、松江市作成の「同意者名簿」を城西地区町内連合会として取り寄せたが、令和2年版では551人の登録であったが令和5年版では379人と大幅な減少となっていた。原因は松江市からの調査案内の不備で、すでに届出ている対象者が今回は不要と判断して提出していないためと判かった。

各町内会単位で取り寄せて、福祉推進員や防災連絡員と連携を取り対応を町内会長各位にお願いしている。(B)

② 広報活動

・広報誌「城西福祉」の発行は編集員の作成のための時間が無く、平成29年以来休刊していたが、令和5年号を6年ぶりに発行し、令和6年版も作成中にある。(B)

(2) 福祉活動

① 高齢者福祉

・高齢者への声掛けは町内会により差は有るが、福祉推進員や民生児童委員等が見守りを実施。(B)

・なごやか寄り合い事業は各所で実施されているが、出席者の偏りが有り、幅広

く参加者を集める努力が必要である。(B)

・健康作りにはペタンクや健康ウォーキング等の室外活動、室内ではシニア3B体操やどんぐりマーじゃん等が活発に実施されている。(A)

② 地域住民の健康維持（健康まつえ21が中心に）

・医療機関により健康講座や、各種がん検診の実施。

・健康講座で体力測定等や減塩の啓発活動など実施されている。(A)

(3) 児童福祉

① 子どもへの支援

・内小PTAや町内会による危険個所の点検を実施。(A)

・登下校時の声掛けや、青パト巡回を実施し児童の安全に尽くしている。(A)

・障がい者を持つ人たちのネットワークの充実と住民の理解が必要。(B)

(4) 一般福祉

・ボランティア登録制度は、多くのボランティア活動に追われ、登録制度の整備が出来なかった。(D)

・町内会を基盤としたネットワーク作りを推進しているが、半分以上の町内会長が1年で交代されるためむづかしい状況にある。(C)

・環境美化は関係ボランティアが継続して花壇整備を行っている。(A)

(A)・・・よく出来た

(B)・・・出来た

(C)・・・あまり出来なかった

(D)・・・出来なかった

4 第6次城西地区地域福祉活動計画

(1) 福祉活動計画策定経緯、理念及び作業取組体制等

① 策定作業に至るまでの経緯

城西地区社会福祉協議会は、これまで平成14年度を初年度とする「第1次城西地区地域福祉活動計画」、平成18年度を初年度とする「第2次福祉活動計画」、平成21年度を初年度とする「第3次福祉活動計画」、平成26年度を初年度とする「第4次福祉活動計画」、平成31年度（令和元年度）を初年度とする「第5次福祉活動計画」と、都合5回の活動計画を策定し、合計22年間にわたって様々な福祉活動を推進してきた。

② 策定に際しての考え方

高齢化が進行し、介護、後見等高齢者に対する対策が求められている中、健康寿命の確保がますます重要となっている。

また、核家族の増加における育児の問題、児童虐待、ヤングケアラーと言った問題の解決も急務となっている。

更に、障がいのある人たちが安心して生活できるような環境を構築していく必要がある。

これらの福祉に関する課題の解決は勿論のこと、それと平行して考えなければならないことは、地球温暖化による影響で発生件数・被害額共に増加傾向にある自然災害への対応をはじめとする危機管理、弱者支援のためのハード、ソフト両面での環境整備である。これらの問題が、町づくりの根本に関わっているとする観点から、第6次福祉活動計画の福祉目標を、第5次福祉活動計画に引き続き「だれでも安心して暮らせる豊かな福祉のまちづくり」とした。

③ 地域福祉活動計画策定組織体制

第6次福祉活動計画策定にあたっては、現行の城西地区社会福祉協議会の理事会を第6次城西地区地域福祉活動計画策定委員会とし、理事会の専門部を策定委員会の専門部会として組織体制を整備した。そして、理事会の総務部を策定委員会の「総務部会」に、同様に高齢者福祉部を「高齢者福祉部会」、児童福祉部を「児童福祉部会」、一般福祉部を「一般福祉部会」に充て、それぞれの部会が、それぞれ対応する「総務福祉」、「高齢者福祉」、「児童福祉」、「一般福祉」の各部門に係る福祉活動計画の策定作業にあたった。

第6次福祉活動計画を策定するために、策定委員会を計3回、専門部会を

計2回行って活動計画の中身を練り上げた。

④ 福祉活動計画策定のためのアンケート調査

福祉活動計画策定にあたっては、まず城西地区住民の福祉活動に対するニーズ又は考え方を基本に置く必要があることから、まずは計画策定のためのアンケート調査から始めた。

令和5年8月25日に、城西地区の自治会関係者、福祉関係者等へ活動計画策定のためのアンケート調査をお願いし、10月にアンケート調査の集約を行い調査結果を取り纏め、福祉活動計画に反映させるよう努めた。

(2) 各福祉部門の活動計画における基本目標の設定と体系

策定委員会の各専門部会毎に福祉部門を設定し、福祉活動計画の基本目標を設定した。

① 総務福祉部門の福祉活動基本目標（総務福祉部会）

- ・ 住民が「安心安全」、「住んで幸せ」な町の実現

② 高齢者福祉部門の福祉活動基本目標（高齢者福祉部会）

- ・ 高齢者が継続的に健康を維持し、将来の不安・困り事に対応できる体制の確立

③ 児童福祉部門の福祉活動基本目標（児童福祉部会）

- ・ 未来を担う子どもたちの育成

④ 一般福祉部門の福祉活動基本目標（一般福祉部会）

- ・ 福祉に関する住民意識の向上

(3) 各福祉部門の施策、活動、具体的目標

各福祉部門毎に設定した基本目標に対する施策、活動を定め、更に施策・活動毎の具体的目標を掲げ、活動計画を体系化した。（別紙のとおり）

(4) その他 城西地区社会福祉協議会の説明

地区社会福祉協議会は、社会福祉法第109条第2項に基づく独立した団体である。地区内にあつて、① 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施、② 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助、③ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成、④ ①～③のほか、社会福祉の健全な発達を図るために必要な事業を行うことにより地域福祉の推進を図ることを目的とする団体であつて、松江市内には29の地区社協がある。

城西地区社会福祉協議会は、城西地区の各福祉団体等が参加し、城西地区社協の役員は各福祉団体等の代表者により構成され、事務局は城西公民館にある。

第6次城西地区地域福祉活動計画表

福祉目標	だれでも安心して暮らせる豊かな福祉のまちづくり
------	-------------------------

部門	基本目標	施策	活動	施策・活動毎の具体的目標	実施・協力者(団体)
一般福祉	福祉に関する住民意識の向上	ネットワークづくりの強化	一般住民イベント交流事業	一般住民の学ぶ喜び講座、楽しみ事業の検討、実施	城西地区社協・ボランティアの会
			世代間交流事業	ボランティア喫茶等の開催、運営	福祉推進員・ボランティアの会
		環境美化	図書館西通りの花壇整備・水やり	花壇整備の継続	関係ボランティア
		障がい者福祉への理解促進	余暇の過ごし方の充実	お出かけや公民館での居場所活動、運営	城西あったか広場

第6次城西地区地域福祉活動計画表

福祉目標	だれでも安心して暮らせる豊かな福祉のまちづくり
------	-------------------------

部門	基本目標	施策	活動	施策・活動毎の具体的目標	実施・協力者(団体)
児童福祉	未来を担う子どもたちの育成	子どもの安全確保	危険個所の見回り・点検	年度初め、随時	町内会、内中原小学校PTA、子ども見守り隊、各福祉団体の青パト、内中原小学校地区子ども会、各高齢者クラブ
			登下校時に合わせた声掛け・見守り	毎日	
			災害時の安全確保	学校、PTA、保護者等との連携による普段からの災害に対する教育、安全対策の普及	
		親子の居場所づくり	わいわいサロン	2ヶ月に1回実施	城西地区社協（保健師との連携）
			子育てサロン	1年に2～3回実施	
			i-basho	週1回実施	
			げんきげんき	月1回実施	
		安心して学べる居場所づくり	自学教室	下校時の学習場所運営	城西子ども広場
			子ども広場	子ども広場の運営	
		町で育てる子どもの力	一中チャレンジ(例)	子どもが主体的に地域のことを考え、実践できる取組み	城西地区社協

第6次城西地区地域福祉活動計画表

福祉目標	だれでも安心して暮らせる豊かな福祉のまちづくり
------	-------------------------

部門	基本目標	施策	活動	施策・活動毎の具体的目標	実施・協力者(団体)
高齢者福祉	高齢者が継続的に健康を維持し、将来の不安・困りごとに対応できる体制の確立	高齢者の健康維持対策の推進	高齢者の健康状況の把握	健康広場における健康測定会の実施	健康まつえ21推進隊
				がん検診の受診率向上策の推進、ポスター作成・掲示、車両・公民館たよりによる広報	健康まつえ21推進隊
			高齢者の健康維持に関する情報提供	健康維持に関する講話(がん・糖尿病予防)	健康まつえ21推進隊
				福祉推進員たよりによる健康維持情報の広報(四半期に1回)	福祉推進員会
			高齢者の健康維持に関する運動の推進	健康ウォーキングの実施(毎月1回)	城西地区社協
				ADL体操・からだ元気塾の実施	城西地区社協
				健康ウォーキングと連携したウォーキング大会の実施	健康まつえ21推進隊
				福祉推進員たよりによる広報(ウォーキング、イスに座ってできる運動)	福祉推進員会
				ニュースポーツの実施(体育協会と連携、なごやか寄り合い事業、研修会)	福祉推進員会、体育協会

高齢者福祉	高齢者が継続的に健康を維持し、将来の不安・困りごとに対応できる体制の確立	高齢者の困りごと・不安に対する情報把握、情報提供及び対策の推進	高齢者の状況把握及び市社会福祉協議会との連携	高齢者宅への定期的な訪問（生活、困りごと等の把握）	民生委員、福祉推進員
				中央地域包括支援センターと連携した高齢者の困りごとへの対応	民生委員、福祉推進員、中央包括支援センター
				福祉推進員たよりによる広報（四半期に1回）（市社会福祉協議会のホームページ「高齢者お役立ち情報」の内容・アクセス方法、中央包括支援センター活動、特殊詐欺・防災対策）	福祉推進員、市社会福祉協議会
			高齢者に役立つ情報の提供	城西地区くらしの便利帳の改定・配布（買物の自宅配送等、出前理容、医療機関）	福祉推進員、市社会福祉協議会
				市社会福祉協議会・介護関係者等専門家による講話・研修	福祉推進員、市社会福祉協議会
				困り事・不安時の相談先の理解促進（市社会福祉協議会、中央包括支援センター）	民生委員、福祉推進員、市社会福祉協議会
			人的交流の推進	なごやか寄り合い事業の推進	民生委員、福祉推進員
				ニュースポーツ研修の実施	福祉推進員
			要配慮高齢者への支援	買物困難者への対応、介護対応等の協議、対策の推進	福祉推進員、市社会福祉協議会
				支援情報の交換・共有	福祉推進員、市社会福祉協議会

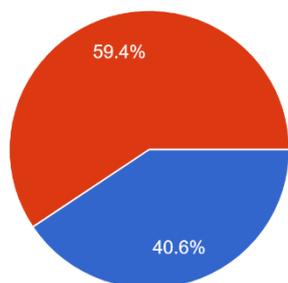
第6次城西地区地域福祉活動計画表

福祉目標	だれでも安心して暮らせる豊かな福祉のまちづくり
------	-------------------------

部門	基本目標	施策	活動	施策・活動毎の具体的目標	実施・協力者(団体)	
総務福祉	住民が「安心安全」、「住んで幸せ」な町の実現	安心安全な町づくりの推進	災害対策本部への協力	地区災害対策本部の活動への参加	城西地区災害対策本部・城西地区社協	
				防災訓練活動に参加		
				減災のための啓発活動に参加		
				自主防災組織結成の啓発活動	自主防災組織の説明会の開催	城西地区災害対策本部・城西地区社協・町内会連合会
			住んで幸せな町づくり	要配慮者支援の町づくり啓発活動	要配慮者支援組織の説明会の開催	城西地区社協・町内会連合会
			啓発(広報)活動の推進	広報誌の発行	広報誌「城西福祉」の作成・発行	城西地区社協
		ホームページによる広報		ホームページの作成・掲載	城西地区社協	
		メディア放映による広報		マール等への放映依頼	城西地区社協	

問1.あなたの性別はどちらですか。

229 件の回答

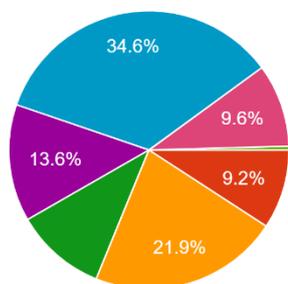


- 男性
- 女性
- 回答しない

男性と女性の比率はおおよそ4:6でした。

問2.あなたの年齢はどの年代ですか。

228 件の回答

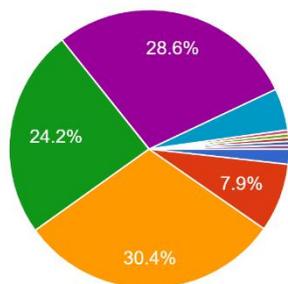


- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代
- 70歳代
- 80歳代
- 90歳代以上

20歳代から90歳代まで幅広い住民の皆様にご回答いただきました。
回答者の割合は、70歳代が最も多く、次いで40歳代の回答が2番目に多いという結果になりました。

問3.あなたの家族構成を教えてください。

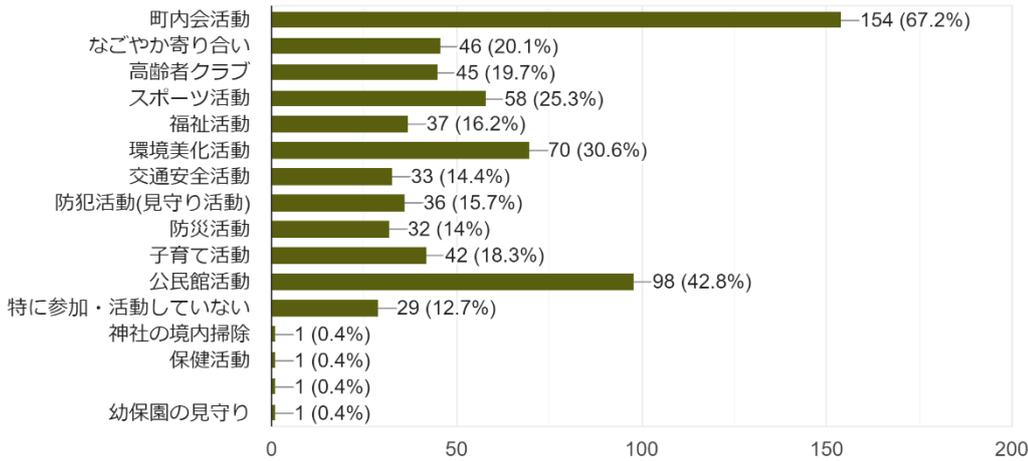
227 件の回答



- 単身世帯 (65歳未満)
- 独居高齢者 (65歳以上)
- 夫婦世帯(2人とも65歳以上)
- 夫婦世帯(1人が65歳未満、または2人...)
- 二世帯同居
- 三世帯同居
- 四世代同居
- 夫婦と子ども

問4.現在までにあなたが参加・活動していたものがありますか。あればそれは何ですか。

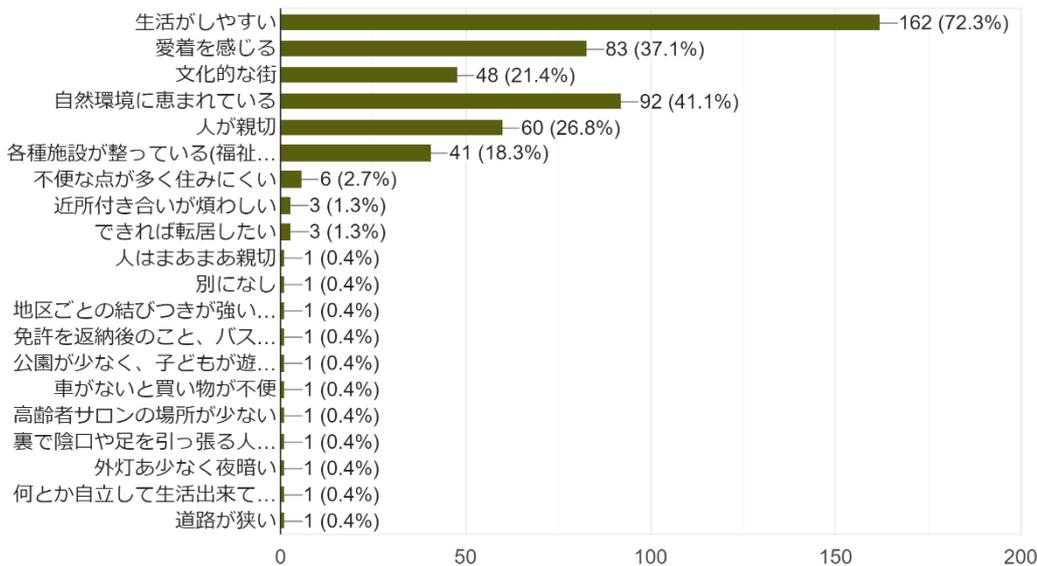
229 件の回答



町内会活動が最も多く、次いで公民館活動となりました。
その他の活動に対しても幅広く参加されている結果となりました。

問5.あなたは城西地区をどのように思われていますか。

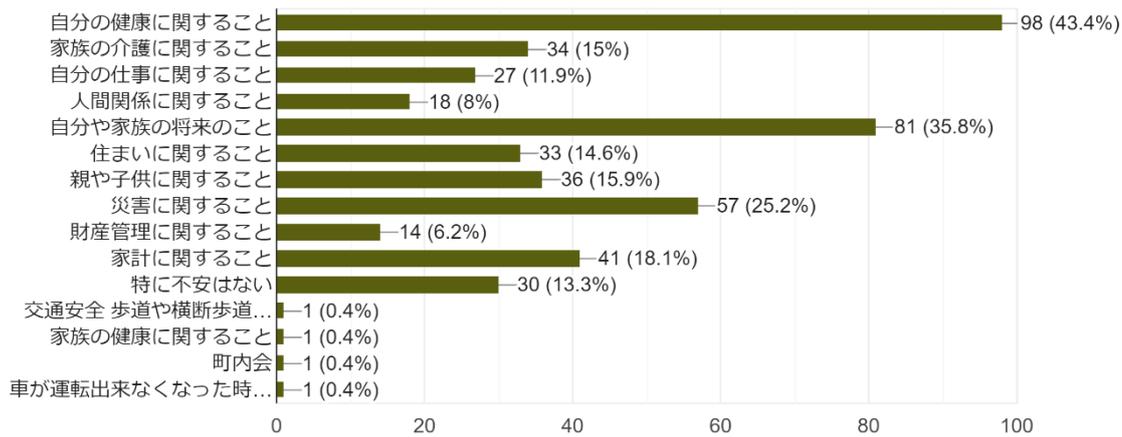
224 件の回答



生活がしやすく、自然環境に恵まれているという回答が多くありました。
また、少数ではありましたが免許返納後の交通手段や道路の狭さについて意見もありました。

問6.あなたは毎日の暮らしの中でどのような不安を感じますか。

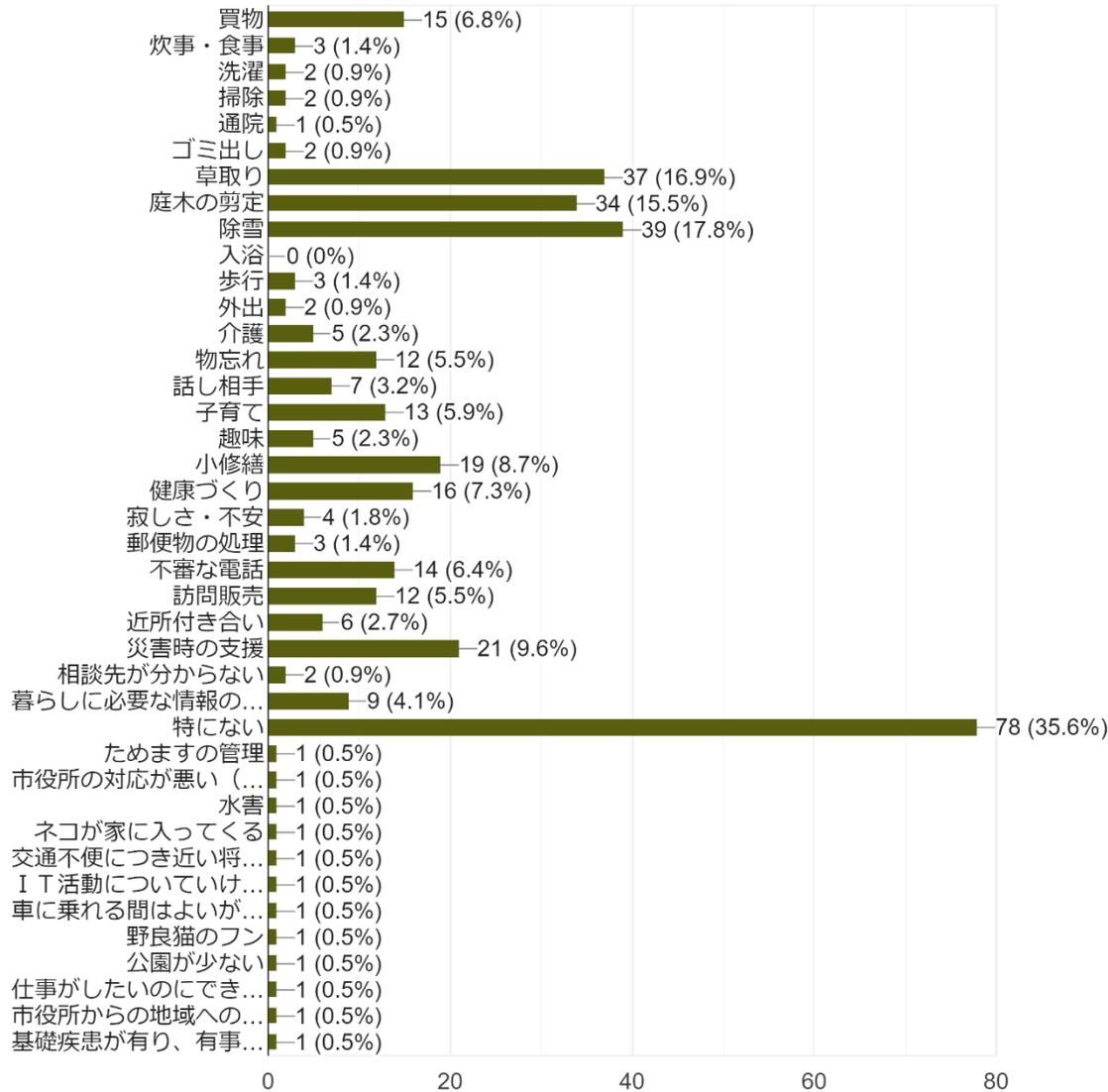
226 件の回答



「自分の健康に関すること」、「自分や家族の将来のこと」、
「災害に関すること」、「家計に関すること」が上位を占めました。

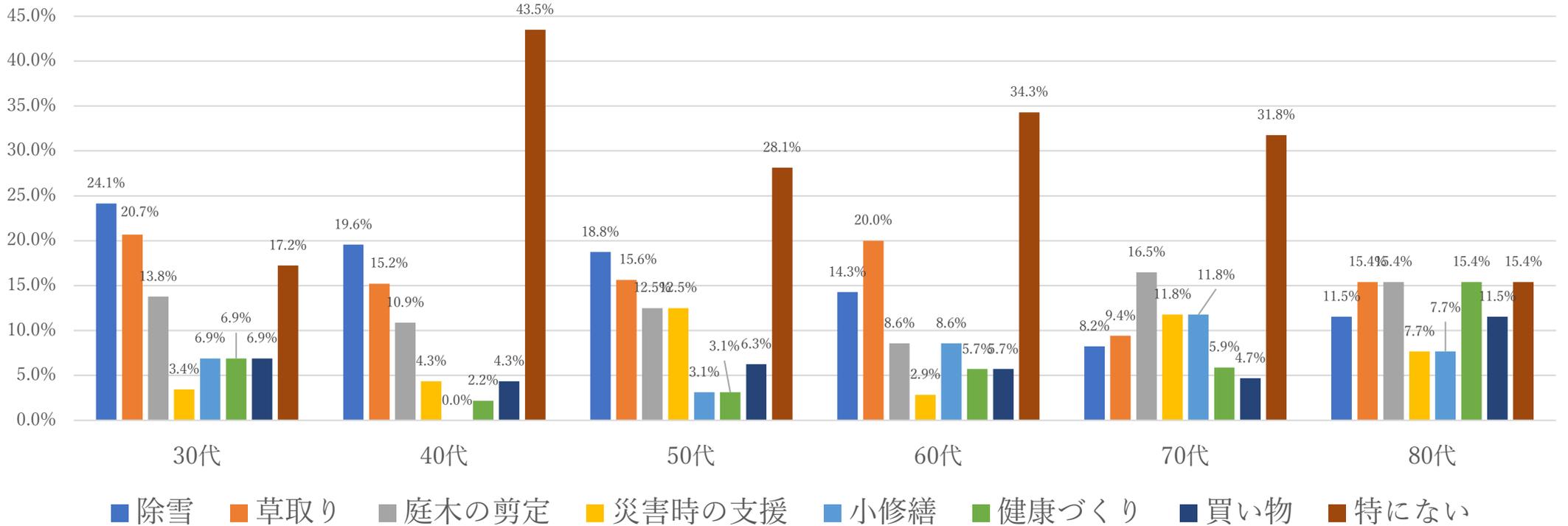
問7.あなたは生活をするうえで不便なこと、困っていることはありますか。

219 件の回答



城西地区の住民の皆様が抱えるニーズを調査いたしました。全体の結果は左記のようになります。「特になし」という回答を除くと、「除雪」、「草取り」、「庭木の剪定」が上位を占めました。また、少数意見ではありましたが動物の被害に関することや公共交通、行政への提言などがありました。

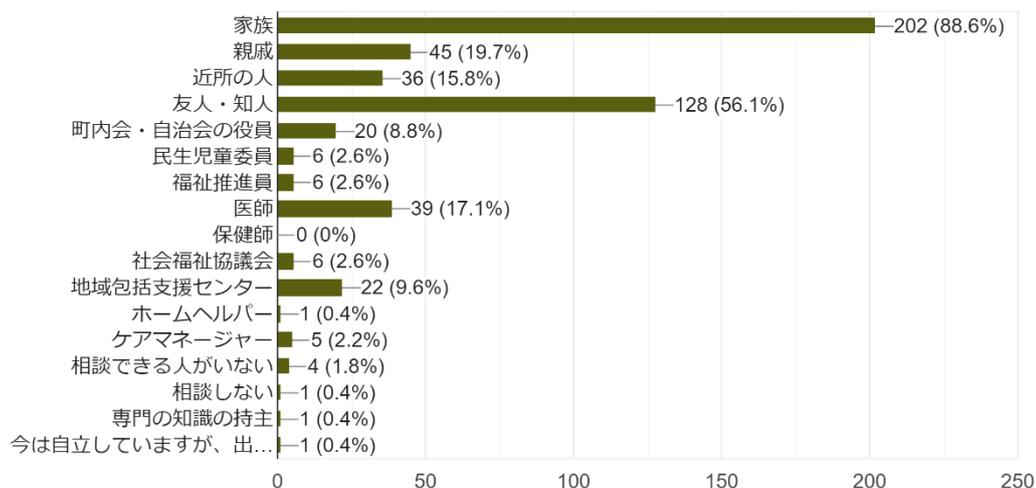
問7.あなたは生活をするうえで不便なこと、困っていることはありますか？



さらに住民の皆様のニーズを探るべく、年代別に分類しました。どの年代においても「除雪」や「草取り」の回答が多かったです。また、年代が上がるにつれて、「災害時の支援」や「買い物」の困りごとを抱える割合が高くなっていることがわかります。

問8.あなたは困ったとき誰に相談したいですか。

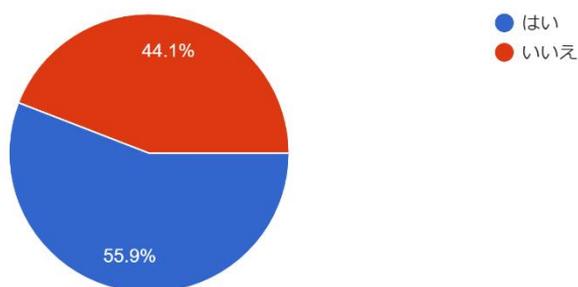
228 件の回答



困ったときの相談相手は「家族」、「友人・知人」「親族」が上位を占めました。
専門職等では、「医師」、「地域包括支援センター」の回答が多くありました。

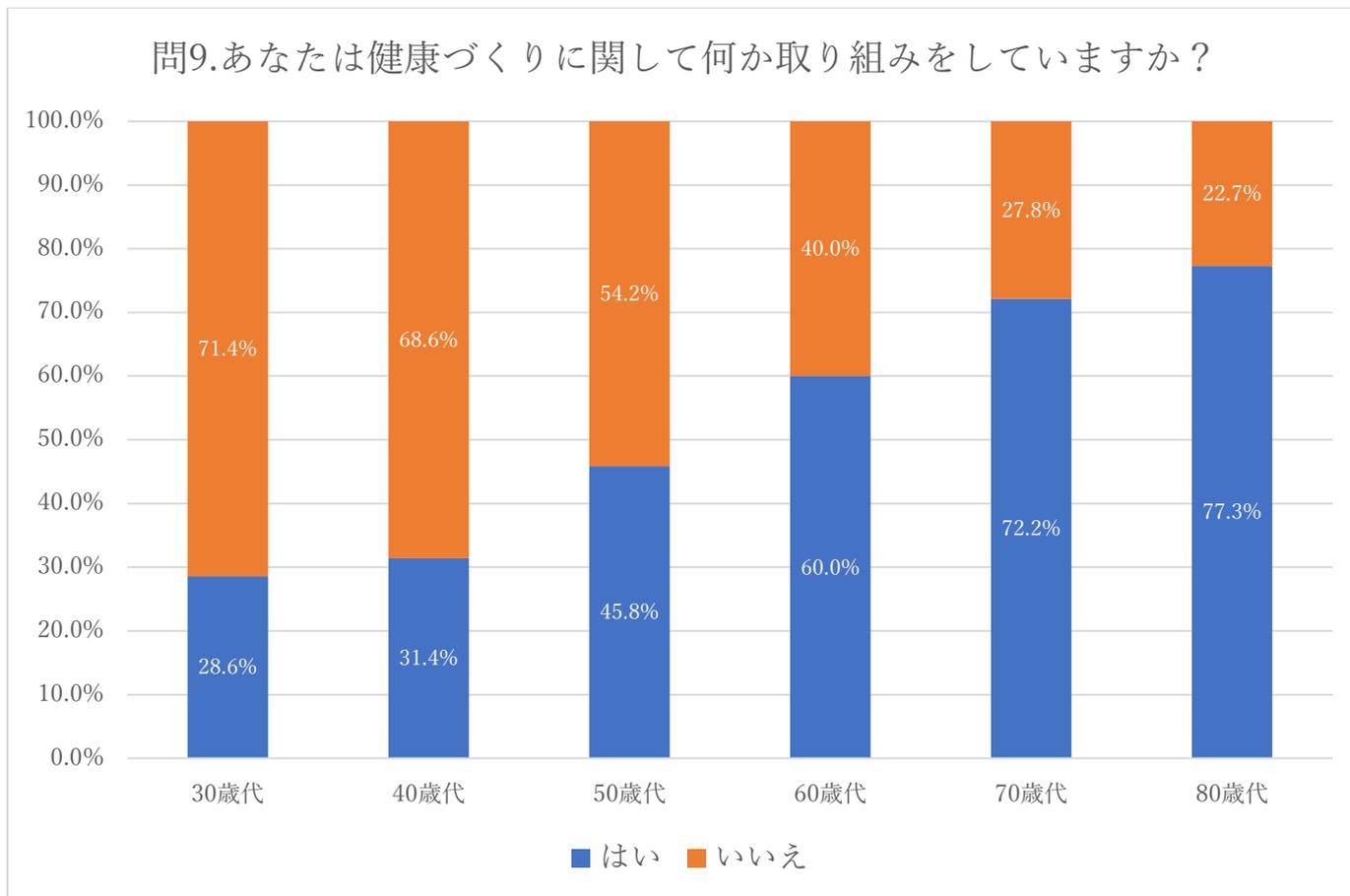
問9.あなたは健康づくりに関して何か取り組みをしていますか。

229 件の回答



健康づくりをしている方の割合は5割以上ありました。

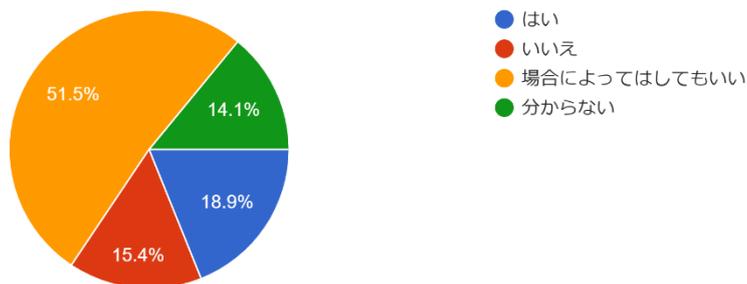
【X クロス集計 X】



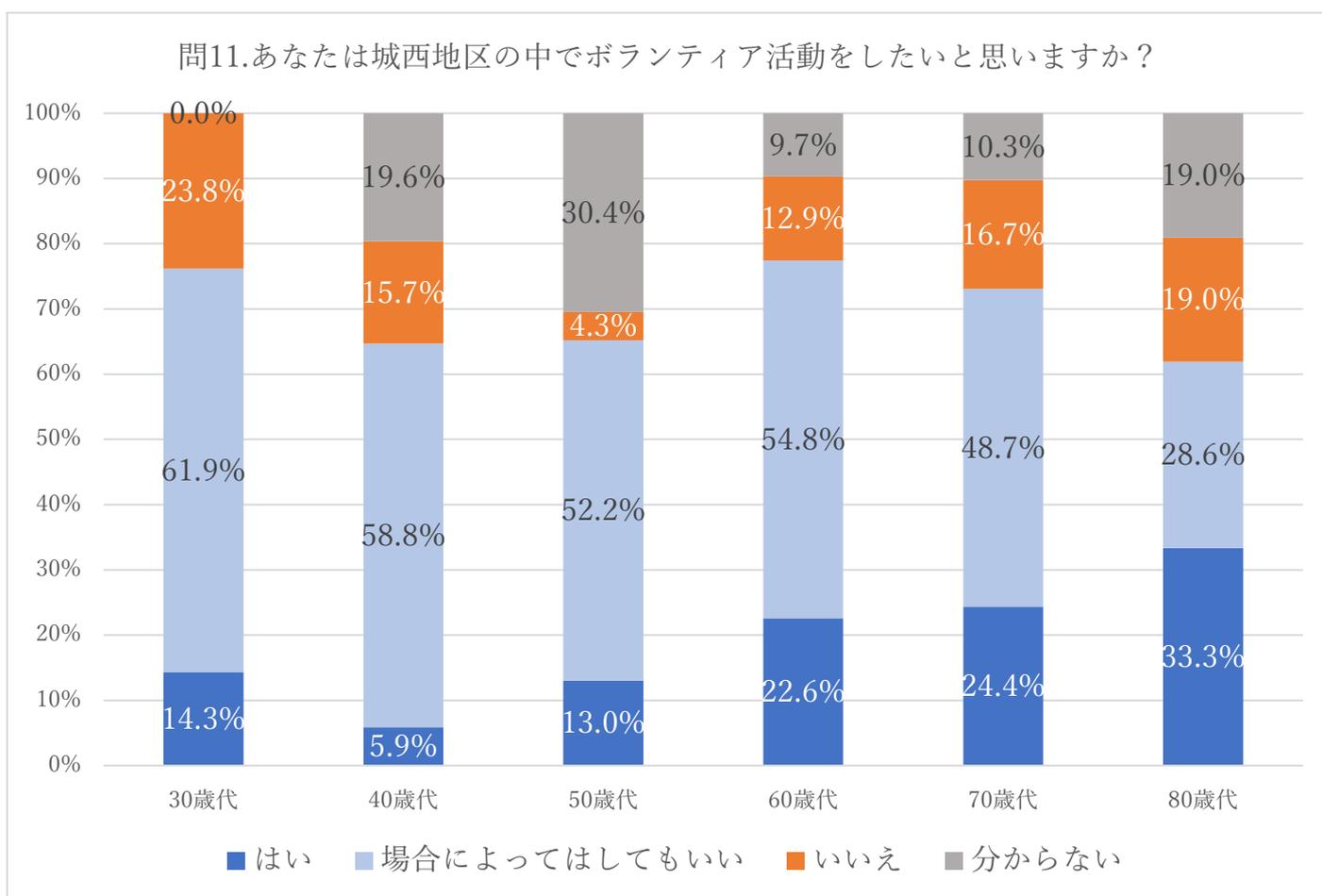
クロス集計を行うと、年代が上がるにつれて健康づくりに取り組む割合が高くなっていることがよくわかります。
若年世代での健康づくりをどのように行うかが課題となりそうです。

問11.あなたは城西地区の中でボランティア活動をしたいと思いませんか。

227 件の回答



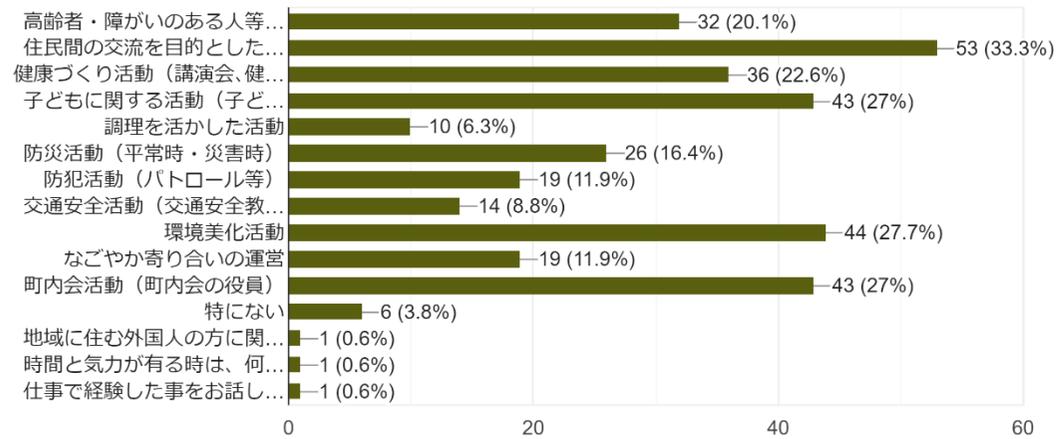
【X クロス集計 X】



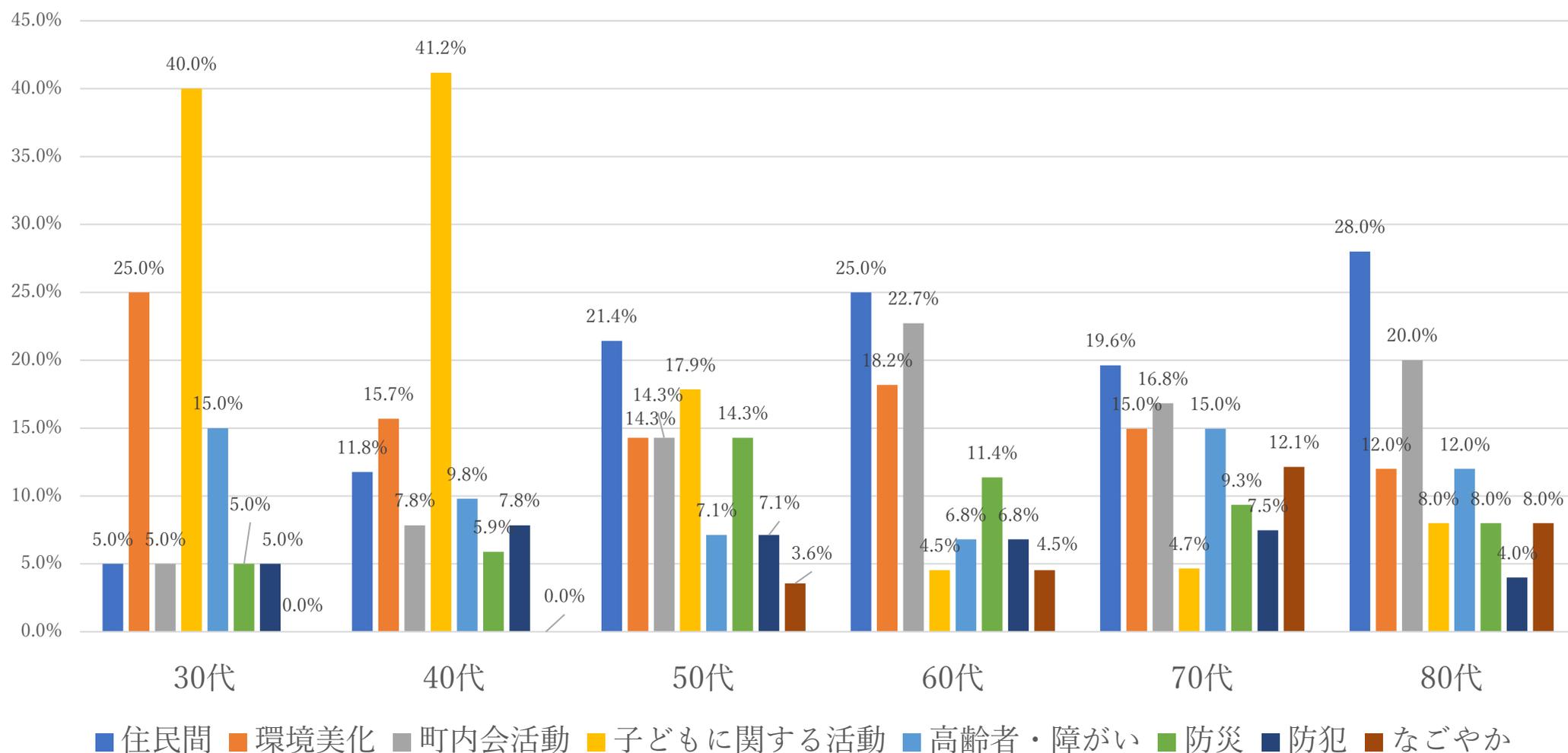
城西地区内でボランティア活動をしてよいと答えた割合は、60歳代が最も高く、次いで30歳代となりました。定年退職後の60歳代を対象に地区内のボランティア活動を紹介する取り組みがあってもよいかもしれません。

問12.問11で「はい」又は「場合によってはして...ランティア活動であれば参加したいと思いますか。

159件の回答



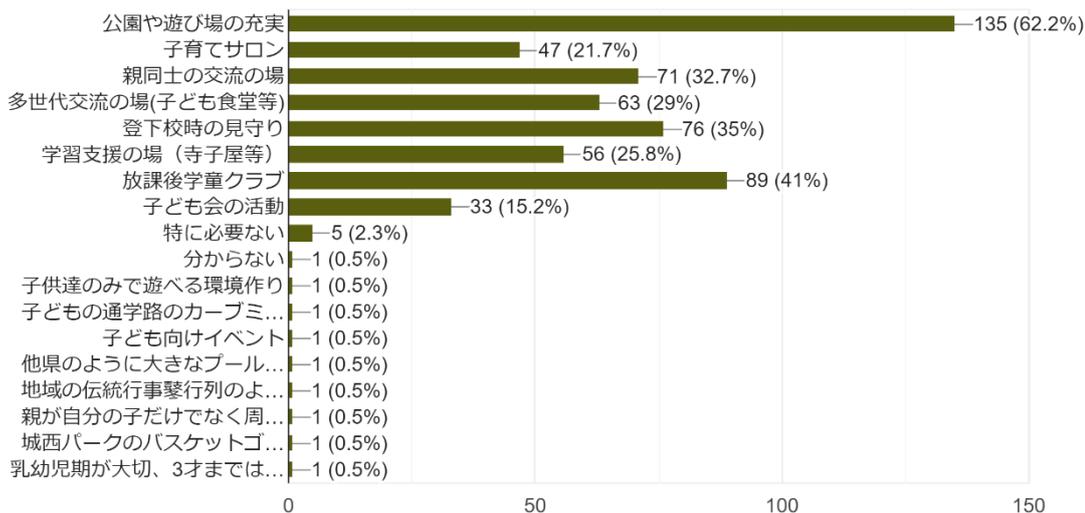
問12.どのようなボランティア活動であれば参加したいですか？



30～40 歳代の若年世代では圧倒的に「子どもに関する活動」であればボランティアを行いたいとの回答が多くありました。一方「なごやか寄り合い」のボランティアをしたいという回答した割合は 0%となっています。年代が上がるにつれて「住民間の交流を目的とした活動」と回答した割合が高くなっています。

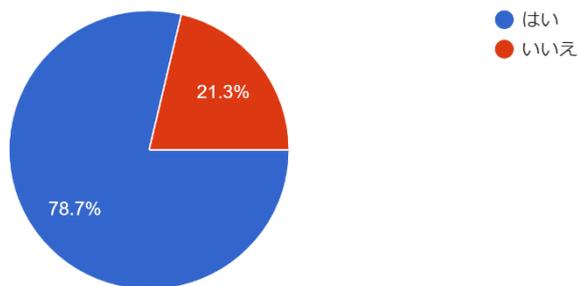
問13.子どもや子育て世帯が安心して楽しく過ごせ...に必要なと思う取り組みはなんだと思いますか。

217件の回答



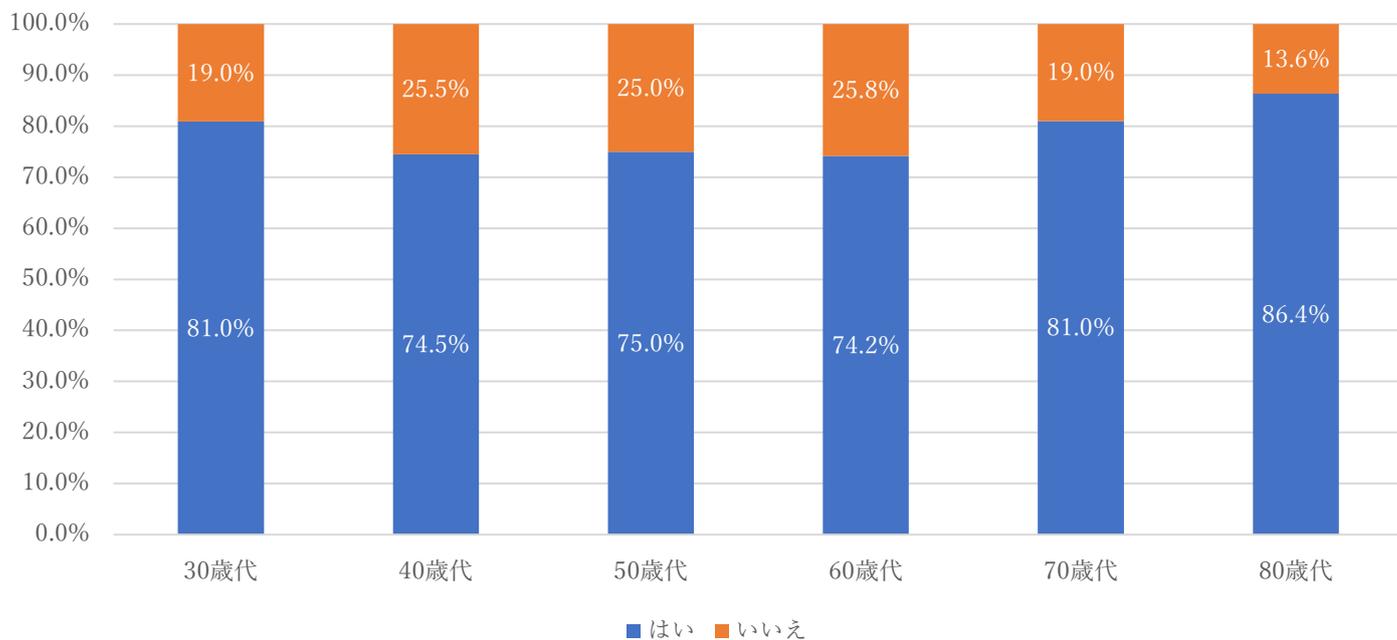
問14.公民館などで行われる活動や行事に参加したことがありますか。

230件の回答



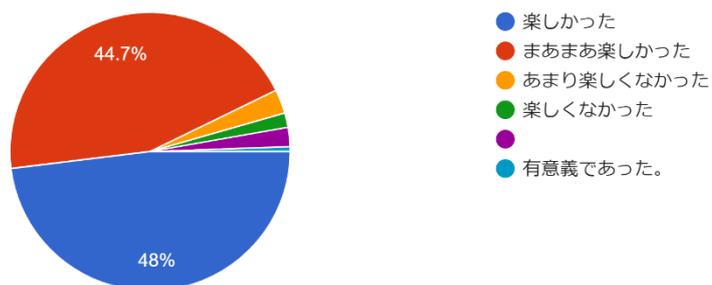
【Xクロス集計X】

問14.公民館で行われる活動や行事に参加したことがありますか？



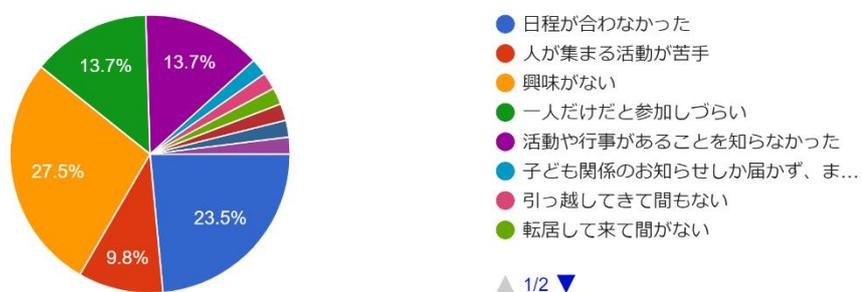
問15.問14で「はい」と回答された方は、参加してみてどう思いましたか。

179 件の回答



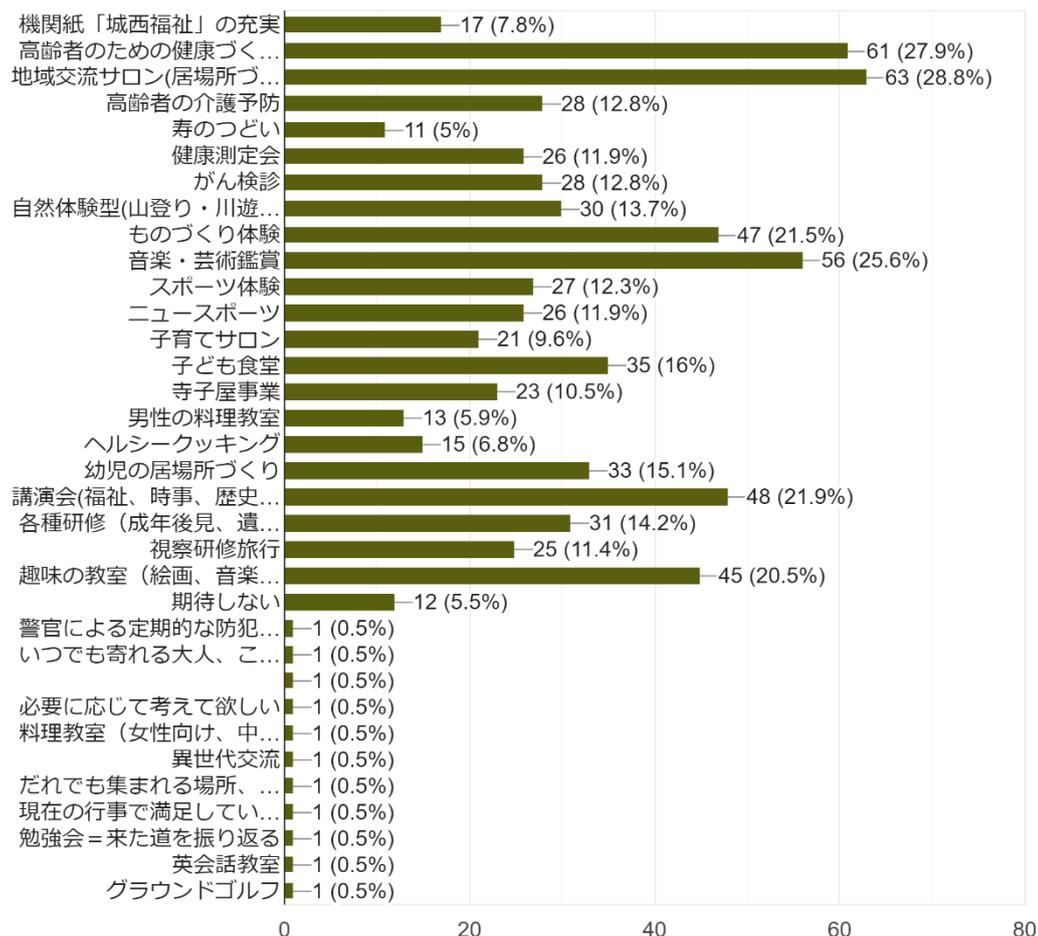
問16.問14で「いいえ」と回答された方、参加しなかった理由はなんですか。

51 件の回答



問17.あなたは城西地区社会福祉協議会に、どのよ...な活動や行事があれば参加したいと思いますか。

219 件の回答



「地域交流サロン(居場所づくり)」の回答が最も多く、次いで「高齢者のための健康づくり」となりました。

自由記述にもいつでもだれでも集える居場所といった記載が目立ちました。